

高度IT 技術を活用したビジネス創造プログラム

(開発した訓練の特徴等)

訓練の内容: 講座(座学)、演習(全体の60%以上)、e-ラーニングを組み合わせ、各講座前後のテスト(CBT)で理解度を確認する。

訓練科目: デザイン思考、仮想化、ビッグデータ、AI(基礎)、IoT活用、セキュリティ、アジャイル開発、顧客分析・企画力養成の8講座。

訓練の対象となる業種・職種等: 基幹システム、業務アプリケーション、Webサービス等従来型の技術者(ITSSレベル2~3)を対象に 第4次産業革命において必須であるIoT、AIやビッグデータに代表されるIT系の技術を駆使し、新たな発想(サービス企画・デザイン思考)でビジネスを創造できる高度ITエンジニアを育成する。

(受講のメリット)

- ・実習や実機演習中心で体験して理解できる。
- ・各分野のプロフェッショナルが作成したカリキュラム、テキストを使用。
- ・実際に最先端で活動されている企業を訪れるフィールドワークを実施。
- ・講座に関してはWebでのLive配信受講ができ自席での受講が可能。

(実施した時の環境等)

訓練の内容: 高度IT 技術を活用したビジネス創造プログラム

【平成30年第1回】

受講日時 : 平成30年6月30日~9月21日 (平日夜間/土日日中)

受講人数 : 18人

【平成30年第2回】

受講日時 : 平成30年10月19日~12月26日 (平日日中)

受講人数 : 22人

【令和元年第1回】

受講日時 : 令和元年7月2日~9月27日 (平日日中)

受講人数 : 24人

【令和元年第2回】

受講日時 : 令和元年10月16日~12月17日 (平日日中)

受講人数 : 17人

受講料 : 98,000円(税別)



区分6:IT 分野(IT エンジニア等の最新技術アップデート型)

(訓練を実施する上で注意する点)

訓練の内容: 長期かつ多分野にわたる講座のため、常に全体像のどの部分をやっているかについて分かるようそれぞれの講師が配慮する必要がある。

訓練時間数: 個人のモチベーションで勤務時間外に講座を受けたい方を対象とする場合は「土日、イブニング」、社命で勤務時間中でも講座を受けられる方を対象にする場合は「平日」が望ましいと考えられる。また、週3回以上の過密スケジュールになると「土日、イブニング」「平日」ともに出席率が大きく下がる傾向にある。

(訓練を実施する上で推奨される取り組み事例)

フィールドワーク: 講座と関連する先進企業を訪問すると受講者にとって大いに刺激となる。本事業ではKDDI社のデジタルゲートを訪問し、アジャイルの先端活用の現場を見学できたことが受講者の満足度に大きく寄与した。

キャリアコンサルティングの実施: プログラム後にJobCardを用いたキャリアコンサルティングを組み入れたところ、受講生のスキルとタスクを振り返る契機となり、前向きな意見が見られた。



KDDI デジタルゲートで実施したフィールドワーク

(受講者等からの声: 受講後6か月以降受講者本人およびその上司へのヒアリングから)

【受講者】

- ・講義については触れたことのないものばかりだったが、テキストがあったので後で振り返ることもできてよかった。
- ・技術的な要素と企画デザインの要素があり、企画で事案については推奨できる。技術はひとによってレベルがまちまちなので選択できるとよい。

【受講者の上司】

- ・社内では教えきれない新しい考え方を学んでいると感じた。・受講後、会議で積極的に伝えようという姿勢がみられるほか、広い範囲の話をするようになった。・自社で扱っているテーマとは異なる分野が目立っていたので、そういった知識を積んだ人材を育成するチャンスだと感じた。

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

(詳細・問い合わせ先)

厚生労働省HP: https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15221.html

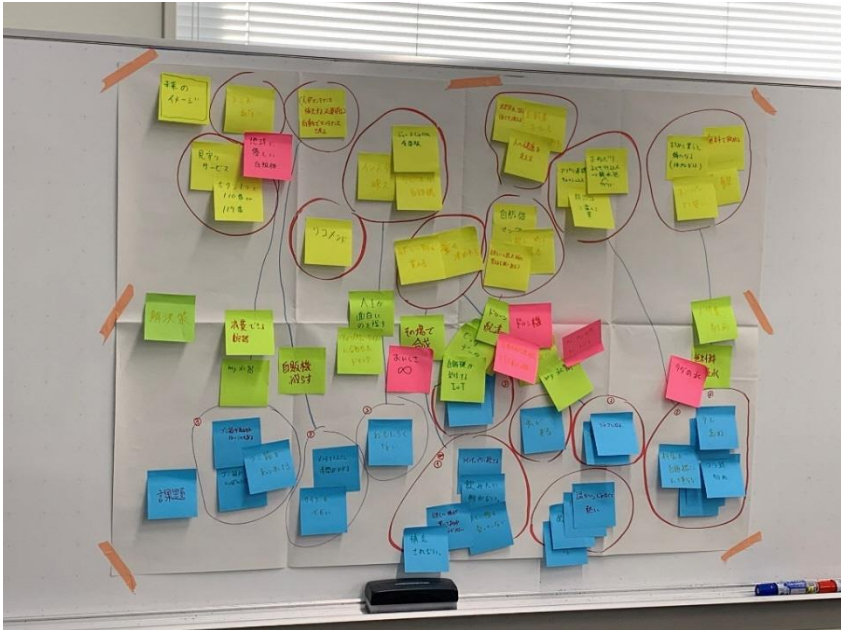
厚生労働省人材開発統括官付参事官室(若年者・キャリア形成支援担当) 中長期的キャリア形成支援係 03-5253-1111(内線5390・5398)



グループワークの発表風景



IoTの実機演習



付箋を使ったアイデア出し



フィールドワークにおけるワークショップ